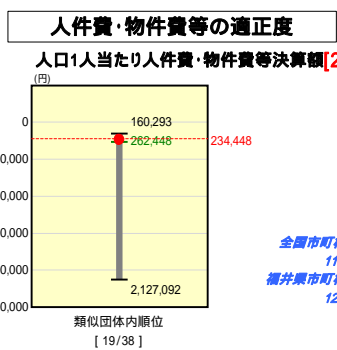
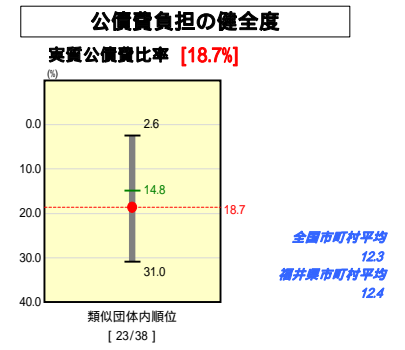
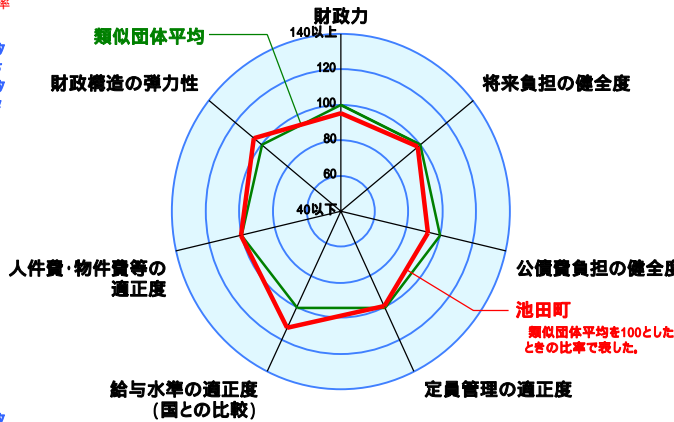
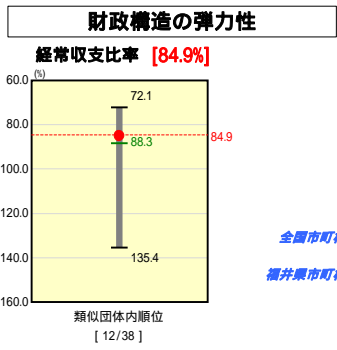
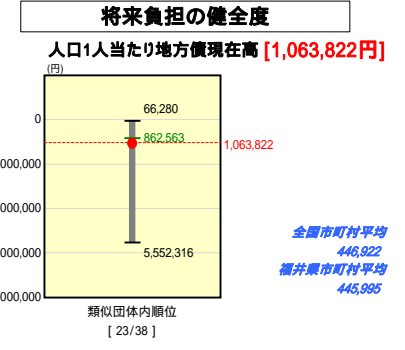
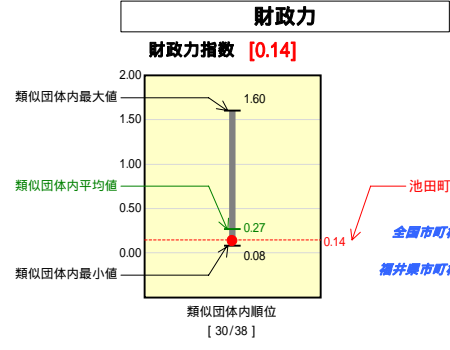


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福井県 池田町

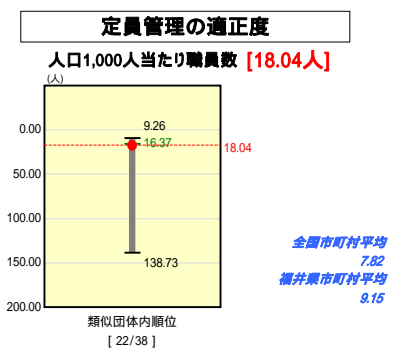
人口	3,436	人(H20.3.31現在)
面積	194.72	km ²
歳入総額	3,214,682	千円
歳出総額	3,004,607	千円
実質収支	209,818	千円



給与水準の適正度 (国との比較)

ラスバイス指数 **[85.5]**

類似団体内最大値 79.9
類似団体内平均値 90.9
類似団体内最小値 98.6
全国市町村平均 97.0
福井県市町村平均 93.2
類似団体内順位 [5/38]



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析概

財政力指数
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(38.9% 19年度末)に加え、基幹産業であった農林業の衰退などにより財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。第3次行政改革実行プランに基づき、指定管理者制度の導入(高齢者施設)や組織機構の見直し(保健福祉医療の一体化)、事務事業の見直し(イベント中止等による歳出削減)により行政の効率化、財政の健全化を図る。

経常収支比率
人件費の削減等、行政改革への取組を通じて義務的経費の削減に努めており、類似団体平均を3.4%下回っている。高齢化率の高い本町においては、今後、扶助費等の福祉関係費が増加することが予想される。そのため、事務事業の一層の見直し等により経常経費の削減に努め、現在の水準を維持する。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均と同水準ではあるが、施設や設備の老朽化が進んでおり、今後維持修繕費等が増加する恐れがあるため、一層のコスト削減を図る。

人口1人当たり地方債現在高
昨年度より100,978円の減少となっているが、類似団体平均と比較すると高い水準となっている。19年度中に補償金免除繰上償還及び民間資金の一部繰上償還も実施した。今後新規地方債の発行抑制等も行い、一層の財政健全化を図る。

実質公債費比率
普通交付税に算入される公債費の額が減少したため、比率が上昇し、類似団体平均を上回っている。19年度に繰上償還を実施するなどし、適正な比率となるよう努めている。

人口1,000人当たり職員数
類似団体を上回っているが、第3次行政改革実行プランにおける平成22年度当初までの職員削減目標については、平成20年度までに達成している。今後も、多様な行政需要に対応しつつ、事務の統廃合等を進め、更なる職員削減を図る。

ラスバイス指数
ラスバイス指数は類似団体を大きく下回っている。今後も給与の適正化に努め、水準の維持を図る。